

皆様には、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

先ず東京御苑ロータリークラブ クラブポリシーを、申し上げます。

東京御苑ロータリークラブは、職業奉仕の精神で事業を成し遂げた・若しくは成し遂げる意欲を持ったロータリアンの、ロータリアンによる、ロータリアンのためのクラブ造りを目指し、親睦を図り・若人を育て社会にサービス奉仕を實踐致します。

「病原菌」は、人類の知恵「ワクチン」に対して、常なる「新病原菌」の登場で淘汰を免れ、総じて生命を保って来ました。鯨や象などは恐竜時代の生き残りの勝利者でもあるのです。

経済社会も同様で消費者ニーズの変化や法制度への対応が遅れた企業やサービスは淘汰され、現存する我々の企業やサービス事業はその生き残りの勝利者であります。

我々御苑ロータリークラブ会員は、会員各位の職業を尊重・敬愛し、未充填の職種会員獲得を永遠に継続し、重きを置かねばならぬことは当然の事であります。

増強活動は、ロータリー精神の最たる社会普及活動であり、その成果は地域の活性化・発展のみならず、人類の世界平和に大きく貢献するものであります。

このような社会要望に答え、ディナー例会(19:00~20:00)で運営する「東京御苑ロータリークラブ」を創立致しました。ロータリークラブの殆どが、昼食時間に例会を実施し、これにより参加不可能となる層がたくさんありましたが、私どもはこれを招き入れて参ります。

参加費用につきましては、インターネット・LINE 等の連絡網を駆使し、Eクラブと同等の会費運営を可能とし、財団・米山学友会はもちろん若きベンチャー企業家などが、参加し易い環境創りに整備致しております。現況、会員数は既に60名となりましたが、1年後には100名を超え、2580地区内活力推進を致します。

またクラブポリシーとして、ロータリーの社会普及は職業奉仕を通じた「会員増強活動の成果」がその第一と捉え、社会的に求心力のあるクラブ運営に力を注いで参ります。

ロータリー活動の地盤沈下を防ぎ未来を切り開くには、奉仕社会の変化に対応した運営が尚更求められています。おそらく5~10年後、ロータリークラブの構成比は、① 12:30 例会クラブ 40% ② 15:00 例会クラブ 10% ③ 19:00 例会クラブ 20% ④ 07:00 例会クラブ 10% ⑤ Eクラブ例会 20% 位になるでしょうし、男女の構成比は6対4位になることを推進すれば、地区会員数 8,000名達成も夢ではありません。

女性の権利をもっと認め、いわば「女性解放運動」を我が地区に起こすべきであります。ポリオ撲滅運動も大事であります、女性のいないクラブを撲滅することも大事です。私はそういう認識に立って、ロータリークラブ全体の生き残りをかけた普及活動の先頭に立つ覚悟であります。

若人育成の為に、行司がまわしを締めるようなことは慎み、「見ざる、聞かざる、言わざる」は、処世術としては大事なことでありますが、そこにゴミが落ちていることに気づいていながら、知らぬふりをして通り過ぎるようなことは、「善人」がすることではありません。どこかの政治家が、「大臣は『若い』か『軽い』ほうが良い」と言っていました、ロータリークラブの場合、少なくとも地区委員長には、パスト会長が任命されるべきでありますし、IM や地区大会実行委員会は、もっとクラブの意向を吸い上げるべきであります。

また人頭分担金の議決は、少なくとも30日前に提案され、クラブ論議を経るべきでありますし、ガバナ一月信には、新入会員の紹介と併せて紹介者も掲載すべきであります。

人に、社会に喜んでもらえる仕事を成す、職業奉仕の精神が宿っている人こそロータリークラブへの参加資格がありますし、完成された人間の創造を終生目指す、未完成の我々こそロータリアンの資格

があるのです。

アメリカにおける「Service」を日本で「奉仕」と日本語訳をしたときから、教条的間違いは始まったともいえるのです。まだ私には「服務」「貢献」以外にふさわしい訳語が見つかりません。皆様一緒に考えてください。

「Group」が、なぜ分区なのでしょう？「Group」はグループでありますし、2580 地区の分区構成も 6 クラブ～16 クラブと公平を欠いています。その上、地区分担金は近隣地区に比べてだいぶ高いのです。何故でしょうか？改善すべきところは多々あるのです。2580 地区内で会員増強に貢献した会員・成し遂げたクラブが正当評価を受けるまで、共に考え、学び、明日のロータリークラブを創って行きましょう。

私共の熱い創立趣旨、そしてロータリー運動の未来を切り開く活動方針にご理解を賜り、ご賛同・ご参加いただきますようお願い申し上げます。また皆様のまわりで、ご友人・知人等、該当される入会希望者がいらっしゃいましたら、ご推挙・ご参加いただければ誠に幸いに存じます。